

第13回「雪の学習」研究会

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立北陽小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2015年1月23日（金） 13:00～16:45

実施場所： 札幌市立北陽小学校 札幌市北区北31条西9丁目

実施目的： 『雪』は単に自然環境として存在するばかりでなく、日々の暮らしひいては文化にも多大な影響を与えており、地域の特色を活かした最適な教材であり、教育現場での活用が望まれる。本研究会では、雪の実践をどのように進めていくか、公開授業等を通じて考える。

参加者数： 75名

概要： (a) 公開授業『ウィンタースポーツの街 札幌』（6年総合）は内容としてはウィンタースポーツに焦点化して雪の教材化を図り、プレゼンテーション力の育成も図ることを意図する。本時は「プレゼンテーションの流れを考えよう」というもので、伝えたいテーマからどのような発表スライドを構成していくかを考えた。授業後、授業に関する検討・討論を行った。雪プロジェクト「雪の授業をパワーアップ！」では、4年生社会での除雪の授業での授業展開や板書、発問の提案や開発中のカードゲームの紹介を行うと共に、ブックトーク「子どもと読みたい雪の本 PART2」を行った。

(b) 事後アンケートに依れば、研究会の満足度は5段階評価で4.9、取り上げた内容を授業でやってみたいかも4.6と好評であった。

(c) 「授業プラン集 Vol. 2」やテキスト「雪の学習プレゼンテーション2」、「雪は自然エネルギー」等を配布し、教育現場での活用を促した。

(d) 本研究会の内容は朝日新聞1月24日朝刊道内面で紹介された。

参加者感想例：

- どれもやってみたいものばかりでしたが、カードゲームのお話、とても興味深かったです。カードゲーム自体もものすごく楽しそうでやってみたいと思うのですが、「遊びながら学ぶ」、「学びながら遊ぶ」というお言葉が印象に残りました。個人的な話で申し訳ないのですが、最近同僚の先生に「勉強は楽しいものでなければならない」という先生がいて、これまでの自分の指導法や授業のあり方について考えさせられていたところでした。そんな中での今日のお話はとても良かったと思います。（小学校教諭）
- 札幌の雪の取り組みを学んで、北海道で生していきたい。（小学校教諭）
- 自分が教師になっても、雪を取り上げていきたいと思いました。（大学生）